**アンケートピックアップ**

**10月30日　Trunk株式会社 代表取締役社長CEO 西元 涼　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

多くの若者に無償で職業体験を提供しているのはすごいと思いました。私たち大学生は沢山お金を払うことは厳しいですが、自分がどのような職業に就きたいのかということを実際に体験してみたいと思います。なので、このようなサービスはとてもありがたいです。また、ママ向けのサービスも進められていて、女性にとても優しいサービスだと思いました。西元さんの実体験や奥さんなどの身近な人のことを思って、こうしたサービスを生み出してきたんだなと思いました。西元さんが何度もおっしゃっていた「やる気のある人が役に立つ社会へ」という言葉が印象に残りました。（理工学部　化学生命学科　2年）

職業体験を行えるのは、先週の福本さんと似ているなと思ったのですが、違う点は大学1年から体系的なトレーニングをカリキュラムに組んでいる点です。ベーシックトレーニングとアドバンストレーニングとに分けるのは、個人差個体差による不平等が少なくなるなと思いました。また、資金援助なしに自己資本だけで3年続いているのはシンプルにすごいと思ったし、もっと企業が世に知れ渡って、波に乗ってほしいなと思いました。学生の負担が少なく(というか全くなく)成長の場を設けてくれるのはとてもありがたく思いました。海外のスタートアップから世の中どう変わっていくのか考えるという考え方は、確かにと納得しました。(都市科学部 都市基盤学科 １年)

春にも一度、Trunk山の話を聞いたが、今回は特にマネタイズに耳を傾けて聞こうと心がけた。仕事をママに持っていくシステムだったり、スクールやセミナーによるマネタイズについて自分なりに色々納得できることがあった。「理想の世界とは？」の話では、他方ドキッとする節もあったが、しっかり自分なりのビジョンを持ってこれから生活していきたいと考える。（経営学部　１年）

僕は宮崎県出身で、横浜に来るまでは「機会がない」と感じていました。横浜に来てからも、改めてそれを実感しています。そういうこともあってTrunkさんの学べる場を広げるという今後の方針にとても共感しました。“育った環境”というと所得とかが真っ先に挙げられるかもしれませんが、場所もとても大きく影響すると思います。せっかくインターネットや通信の技術が発展してきているのですから、もっと日本の隅々まで“機会”を均等にしてより多くの子供に、人にいろいろな可能性を引き出すチャンスがもたらされる世の中になってほしいと感じました。（経済学部　1年）

私も考えとしては大学卒業後、一度企業に就職してから起業したいと考えております。西元さんはお若い時から、様々な企業で経験を積まれたとお聞きして焦りを感じました。私は大学２年からそういった活動をしていこうと考えておりますので、西元さんの生き方を参考にストイックに生きていこうと思います。自分のロールを理想から考えることで現実を理想に近づけるというマインドが最高に前向きでささりました。「失敗を恐れる」というより「失敗してみる」ぐらいのマインドでやってみたいと思います。

「考えていました」という時間がもったいないというメッセージを強く感じた。確かに、やってみましたではなく、考えていましたと言う時点で行動を起こせていないわけで、ベンチャー起業家としてはもどかしく思えるのではないかと思った。前期の講義でもそうだったが、自分の理想を強く持ち、それに向かって行動しているという印象を受けた。それは上でも書いたような、とにかく行動を起こしてみようという行動力の原動力になっているのではないかと思った。資金調達方法など、現実的な問題も考えないわけにはいかないが、まずはその強い理念と行動力が企業には必要なのだとわかった。（経営学部　1年）

自分の体験をきっかけに、やりたいと思えることが見つかるのがすごいと思った。実体験のインパクトが大きいから周りへの印象がすごく残りそう。自治体と連携してママの活動に取り組む視点が良いと思った。「働けないママ」の話をよく聞くし、自分も将来結婚して子供が生まれたら、子供がある程度の年齢になるまでは子供の側を離れたくないと感じていたから、Recurrent mamaの取り組みは素晴らしいと思った。お母さんたちはTrunkのそのような活動をどのように知るのでしょう？なぜ企業が投資するのかよくわかりません。企業に何のメリットがあるのでしょうか。(都市科学部　都市社会共生科　1年)

私は教育学部の3年です。言いづらいのですが、教員になるか迷っています。間違いなく、自分自身は教員の適性はありません。もともと周囲より勉強ができて、たまたま英語が楽しかったのと、物事を人に伝えるのが楽しかったので教育学部に進学しましたが、周りを見て自分がなってはならないのではないかと少しふさぎ込んですらいます。就職すればいいのでは、という話ですが、今からほかのことをしようにも他専門の学生に勝てないのでは、とぐずぐずしています。今日お話を伺って、自分の場合とは少し異なるかもしれませんが、かなり必要なことだと感じました。ぜひいろんな方に向けてハードルを低くしてあげてください。貴重なお話ありがとうございました。(教育人間科学部学校教育課程3年)

初めて西元さんの話の話を聞いたが、無償で職業体験、職業訓練をできる場、学べる場を作っていることに驚いたし、そのような場を求めている学生は多くいるのだろうなと思った。面白いなと感じたのは母親たちに転職しやすいよう環境を提供する事業を考えているという藩士で、学生だけに限らず勉強したい、新しい仕事をしたいと考えている人は多くいるのだとわかり、そのような人たちにも挑戦できるという環境作りが今後も求められていくのだろうなと思う。（教育人間科　学部教育心理発達学科　３年）

教育を無償で行うということは社会の壁を取り払うことにも貢献するものであり、とても共感出来ました。「理想」について考えることで、行動することは重要であり、実際に体験することが1番早いというのは納得できるものでした。(経済学部経済学科1年)

今日の講義では、初め、仕事と働く人がうまく噛み合っていない、ということに着目した企業であることを聞いたが、学びたいと考えている人に無償で学ばせる意思を実現していることにとても驚いた。離職のデータからも、ミスマッチが少ないことがわかるので、西元さんがおっしゃる通り、中高の段階で考えていけば、３０代になり振り返って２０代ちゃんとしていれば、とならないように、自分に会う職業について考えること、また、それに向けて、計画を立て学ぶことはするべきであると感じた。それに関わる会社は、理求と離れているけれど、あっていいと感じた。（理工　化学・生命系　２年)

学生に向けて無料で職業体験の機会を提供することで離職率を減らすという事業が印象的だった。自分自身大学進学の際の学部・学科選択に若干の不満があるのでそのような機会が大学でもあったら理想的だなと思った。 (都市科学部 都市基盤学科 1年)

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

最後の言葉で「期限を決めて、夢を実現させるためにねばってみる！」というのは、案外多くの人(私も含め)がなかなかチャレンジしないことかもしれないと思いました。私も視野を広くもって、夢の実現に向けて粘りたいときは、粘りたいと思います。(教育学部　学校教育課程　1年)

就活のシステムが変更されることを、マイナスではなくプラスのように考えようと思いました。また、情報工学専攻で、金融工学にも興味があるので、ブロックチェーンの講座を受けてみたいと思いました。（理工学部数物電子情報軽学科3年）

自分の置かれた環境にかかわりなく、やれることから取り組んでいきたいと思います。環境を憂うことも環境に甘えることもなく、活動していきたいです。(教育人間科学部学校教育課程3年)

**授業スタッフの感想**

西元さんの講義は春学期も受講したが、新たに奨学金・保育といった新事業展開を進めるといった前回からさらにパワーアップしたお話を伺うことができて非常に刺激を受けた。特に印象に残っているのは、講義後のアシスタントを交えた交流会の際、「今やりたいことがたくさんあって時間は足りないのだがどうしたらいいか」という質問に対して西元さんが「それなら人を巻き込めばいい」とおっしゃったことだ。実は自分も今、そのような状態なのでやはり“人を巻き込む力”は必要だと思った。そのためにも100人話しかけられる相手を作りたいと思う。

無償で学ぶ機会を提供するというスタイルはとても素晴らしいと思いました。企業側のニーズをうまく捉えることによって、サービスにも色々な可能性が生まれるのだなと思いました。また、外部資本無しで、会社を継続させることによって、自分たちの理念を通したことも、すごいと思います。今後必要とされる仕事、今足りていない仕事を見抜いていくことは、私自身にも必要となるスキルだと思うので、学生のうちに経験を積み、知識を得たいです。さらに、今後の活動ということでお話しされていた、中高生向けの教室というのも面白そうだと思いました。大学生よりも、中高生の方が使えるお金は少なく、せっかく興味を持ったことがあっても深められないと思うので、中高生がやりたいことをやれるようにする活動には、未来があると思います。

春と同様、為になる生き方・考え方の話もあれば、今回は具体的な事業の話とその裏話など、ビジネス的な話も聞けて刺激があった。改めて西元さんの凄さを実感した。資本金を株などで調達していないこと、広告なしで全部口コミで広げたこと、人材育成事業を無料で行い今もなお継続できていることなど、そんな簡単にできることではないですね。でもそれらを成し遂げられているのは、西元さん自身のパーソナリティなのだろうと思わされた。　また、（口コミの話に関連して）井上先生もおっしゃっていたように、「話すことができる人」の存在の大切さを知った。だから今後知り合い、友達を増やしていきます。